

SEIKATSU

受賞作品 | 生活科部門

〈総評〉

本年度は、応募総数はやや減少したものの、その研究をしようと考えた「きっかけ」から「予測」、「実験」、「結果」まで、しっかり順序だてて論じられている作品が多くみられ、精度の高い作品が集まっているように感じました。テーマもバラエティに富んでいたとともに、実際に関係者の方に会いに行ってお話を伺う、電話を通してインタビューをするなど、机上の研究に終始しない作品が多かった点も非常に良い傾向です。一方で、数か月に渡るような長期の研究は少なく、ややボリュームに欠ける印象でした。研究の結果をまとめることも大切ですが、その結果に対してさらにもう一段階考察を深め、次につなげることで、より息の長い研究が増えていくことを期待します。身近な疑問にも「なぜ？」を繰り返し、掘り下げていくことで、新たな発見に繋がってみてください。



文部科学大臣賞

ふあいあー！！63かしょ ぜんぶいったぞ
なごやししょうぼうきょく
愛知県 一宮市立葉栗小学校 1年
岩田 航太郎



子どもの文化・教育研究所 理事長賞

かいことすごしたなつやすみ
東京都 白百合学園小学校 1年
平田 怜奈



全国小学校生活科・総合的な学習 教育研究協議会 会長賞

わたしのうめしごと
東京都 白百合学園小学校 2年
岩澤 あいり



中央出版株式会社社長賞

ぼくの山のぼりレポート
富山県 富山市立藤ノ木小学校 2年
蒔田 陸人



優秀賞

どうしてこわい？
～みんなのこわいものしらべ～
新潟県 上越教育大学附属小学校 1年
峯岸 京平

なんじゃこりゃ！？秋のカラスの大集合
秋田県 秋田大学教育文化学部附属小学校 2年
黒木 陽登

花束に入ってたナゾ液の正体は！？
東京都 渋谷区立臨川小学校 2年
米田 あかり

文部科学大臣賞

ふあいあー！！63かしょ ぜんぶいったぞ なごやししょうぼうきょく

岩田 航太郎 | 愛知県 一宮市立葉栗小学校 1年

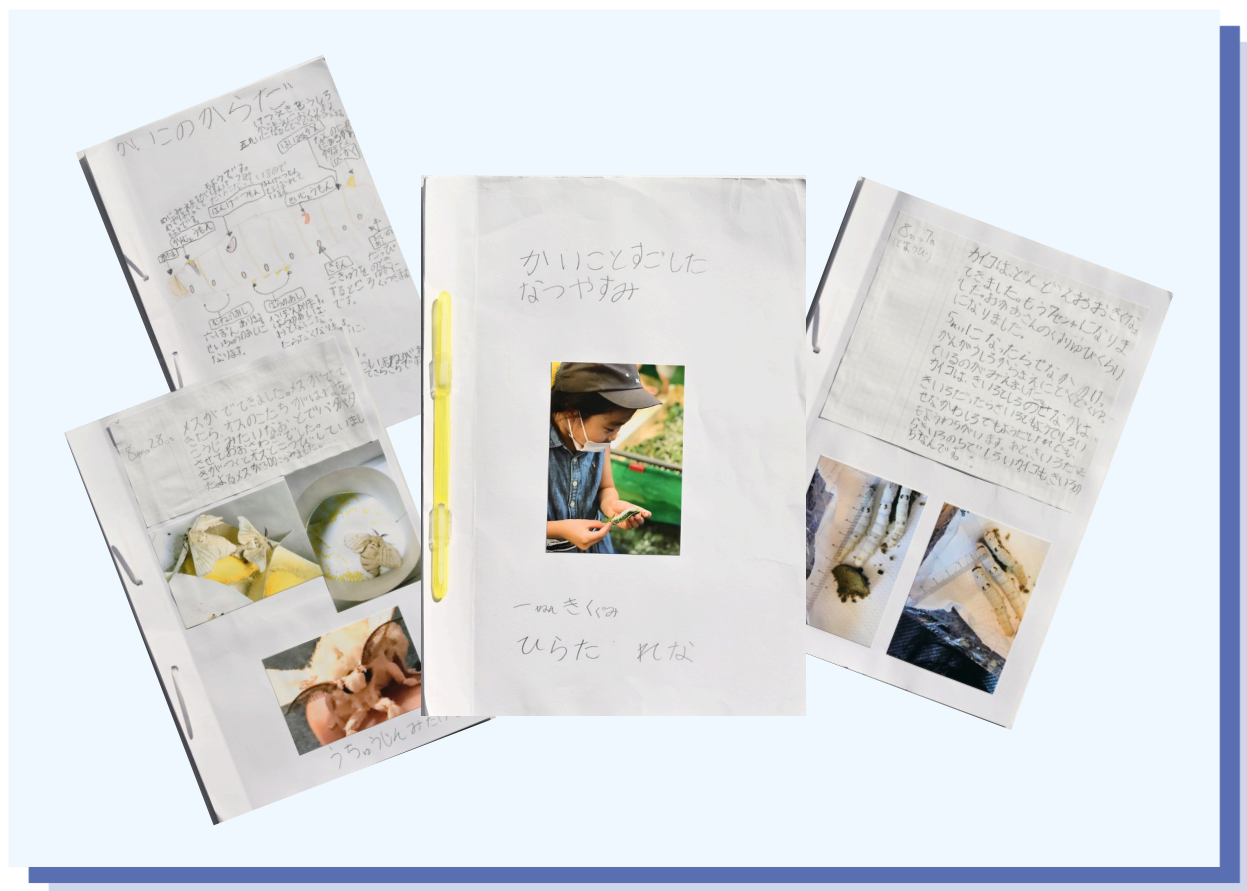


〈選考理由〉

「おじいちゃん、お父さん共に消防士」という航太郎さんの将来の夢は、やはり消防士になること。夢を叶えるために、名古屋市にある消防局63か所を全て訪問し、各消防局の設備や、局で働く人の数、消防士になろうと思った理由などについてインタビューするとともに、各局の消防士の方から一言ずつ応援メッセージを集めたレポートになっています。特筆すべきは何と言ってもその行動力。消防署・出張所・ハイパーレスキューと、各局へ直接足を運び、その施設にしかない車両を調査したり、訓練の様子を見学させてもらうなど、消防士を目指す人にとってかけがえのない時間がぎっしり詰まった研究になっているとともに、消防局に関する知識がない人にとっても貴重な情報が満載で、大変勉強になりました。消防士といえば危険を冒して人の命を救う仕事に携わる方々ですから、航太郎さん宛てのメッセージも熱いものが多く、心温まる研究になっています。周りの人々の支えがあったことへの感謝に気付き、今度は自分が支える役割を果たすようになる、そんな未来も見えて嬉しくなりました。将来の夢があっても、本当に叶えるために行動できる人は決して多くはないと思います。これからもこの好奇心・行動力を発揮し続けて、ぜひ航太郎さんの「消防士になる」という夢を叶えてください。とにかく力作です。感心しました。

かいことすごしたなつやすみ

平田 怜奈 | 東京都 白百合学園小学校 1年



〈選考理由〉

夏休みを使って、22頭のかいこを育てた怜奈さん。4齢のかいこを2種類、それぞれ11頭ずつ飼育し、1か月間じっくり観察するとともに、かいこの繭から糸を巻き取って、オリジナルのランプシェードを制作した様子が記録されています。毎日体長を測り、エサを食べて大きくなっていく過程や脱皮の様子、体の色など、小さな変化も見逃さず生き生きと描写していること、それに対してどう思ったのか素直な感想が綴られていることから、怜奈さんがまるで家族のようにかいこに心を寄せて飼育していることが伝わってきます。生き物を育てるということは必ずしも楽しいことばかりではなく、中にはエサをあまり食べられずに弱っていく個体もあり、悲しい思いもします。しかし、そんなかいこをお世話する様子からは、怜奈さんの優しさが溢れていました。長期間にわたる観察の甲斐あって、かいこが繭を作り始める様子、繭から成虫が出てくる様子、成虫が交尾する様子など、決定的な瞬間が数多く収められています。実際に繭から巻き取った糸を使ったランプシェードは優しい光を放っていました。かいこと過ごした夏休み、新しく生まれた卵の羽化と、その後のかいこの成長も楽しみですね。すてきな夏休みの様子は、読んでいて味わい深く、楽しい気持ちにさせていただきました。

全国小学校生活科・総合的な学習教育
研究協議会 会長賞

わたしのうめしごと

岩澤 あいり | 東京都 白百合学園小学校 2年



〈選考理由〉

初めは梅が苦手だったあいりさんが、お母さまの「梅仕事」を手伝ったことをきっかけに興味を持ち、梅に関する「なぜ？」を明らかにするため、あらゆる視点から梅に迫った研究です。図書館へ足を運んで館長や司書の方に質問したり、本で調べたり、実際に自分で梅干を作ってみたり、時間をかけて丁寧に取材・研究を重ねていることが分かります。加えて梅に関するアンケート調査、梅の歴史調査、梅に含まれる成分とその効果など、一つのテーマに対して、実に多角的なアプローチで研究されており、あいりさんの好奇心と探求心の強さが感じられます。内容もさることながら、まとめ方に関しても写真や色紙、絵の使い方がとても工夫されていて、読みやすさと華やかさに溢れた作品になっています。梅干を作る過程についても、毎日じっくり観察しながら小さな梅の変化も事細かに捉え、なぜその変化が起きるのか一つひとつ深堀りして研究されており、あいりさんが心から興味を持ってこの「梅仕事」に取り組んでいることが伺えました。「梅仕事」を通して、梅が大好きになったあいりさん。来年の梅仕事もぜひがんばってくださいね。

中央出版株式会社 社長賞

ぼくの山のぼりレポート

蒔田 陸人 | 富山県 富山市立藤ノ木小学校 2年



〈選考理由〉

今年の春、お父さんと一緒に登山をしたことがきっかけで山に興味を持った陸人さん。実際に富山県内の三つの山に登り、その様子を細かくレポートしてまとめています。ただ山登りの様子をまとめるのではなく、まずは富山県にある山の数を示し、山に潜む危険、必要な持ち物、山登りに適した服装など、資料を用いながら丁寧にまとめた上で実際の山登りレポートに入っていくという構成が見事で、読む側も思わず山登りへの期待が高まります。尖山、来拝山、城ヶ平山に登山した様子が、山の特徴の記録と躍動感あふれる写真、陸人さんの素直な感想と一緒にまとめられており、心から登山を楽しんでいる様子が伝わってきます。さらに来拝山を管理する国立立山青少年自然の家の方にもインタビューを実施し、山の管理や山登りに人気の季節などについて聞き取りをするなど、陸人さんの好奇心の強さとバイタリティが存分に発揮されており、全体的にみずみずしさが溢れる作品になっています。富山県には100以上の山があるということなので、今後もしっかり危険対策をしながら、山登りを続けていってください。